

校訓
自律
調和
向上



中央中だより

〒660-0051 尼崎市東七松町2丁目5番67号TEL (06) 6481-5351 Fax (06) 6481-5352 <http://www.ama-net.ed.jp/school/J03/index.html>

役に立つから勉強する

ことしのノーベル医学・生理学賞の受賞者に、東京工業大学の大隅良典栄誉教授（71歳）が選ばれました。細胞が、不要になったたんぱく質などを分解する「オートファジー」と呼ばれる仕組みを解明した功績が称えられたものです。この研究が、神経の病気の予防法や治療法の開発につながるのではないかと期待されています。



大隅教授はインタビューに答えて、「サイエンスは、どこに向かっているのかがわからないところが楽しいのです。『これをやったらよい成果につながります』と言うのは、サイエンスにとってはとても難しいことです。すべての人が成功するわけではありませんが、チャレンジすることが科学の精神であり、その基礎科学を見守ってくれる社会になってくれることを期待したいです」と述べました。

さらに、若い世代へのメッセージとして、大隅教授は「今、なかなか子どもたちが自分の興味を表現することが難しい時代になっている」と述べたうえで、「『あれっ』と思うことがたくさん世の中にあるので、子どもたちには、そうしたことへの気付きを大切にしてほしいです。分かっている気分になっているが、何も分かっていないことが、生命現象にはたくさんあります。子どもたちには『なんとかなるさ』というくらいの気持ちで、チャレンジしてくれる人が増えることを強く望んでいます。それと同時に、そうした子どもたちを支える社会であってほしいです」と述べました。

昔、イギリスにマイケル・ファラデーという科学者がいました（※1）。ファラデーが電磁誘導の法則を発見したとき、それを当時イギリスの大蔵大臣だったグラッドストーンに説明しました。そのとき大蔵大臣は、次のように尋ねました『…で、これはいったい何の役に立つのかね?』そのときファラデーはこう答えたそうです。『生まれたばかりの赤ちゃんは、何の役に立ちますか?』（※2）

学問というのは、いまはすぐに役に立たないものであっても、時間をかければいろいろな方向に成長する可能性を秘めた存在です。今、皆さんはいろいろなことを中学校で学習しています。その学習は今

すぐに役立つものもあれば、何のためにやっているかわからないと思えるものもあるでしょう。しかし、あなたに無限の可能性をもたらすかもしれません。（※1）マイケル・ファラデー（Michael Faraday, 1791年9月22日 - 1867年8月25日）は、イギリスの化学者・物理学者で、電磁気学および電気化学の分野での貢献で知られている。

（※2）「将来この実験に必ず税金をかけることができます」と答えたという説もあります。

文化祭に向けて

21日の文化祭に向けて、「Start our new style!」のスローガンのもと、しっかりと取り組んでくれていることと思います。

さて、この文化祭で皆さんにはたくさんのかんじ取ってほしいと思っています。「目標を持ち、その目標が達成できたのかどうか」「結果も大切なことですが、その過程での取り組み姿勢はどうだったのか」「自分一人の頑張りが基本ですが、みんなと協力できたのかどうか、仲間を信じ合えたのかどうか」「例えば、学級の一員として、自分の役割を



しっかり責任を持って果たせたのかどうか」など自分の言動を客観的に見て評価してほしいと思っています。

つまり、ただ「楽しかった!」「頑張れた!」「面白かった!」ということも大切ですが、そういう感想だけでなく、様々な角度から自分のことを分析する

力を身につけてほしいということです。

部活動等の記録

部活動	大会	成績	個人名
ソフトボール	古屋敷杯	優勝	
	市新人大会	優勝	
陸上部	市新人大会	3位	女1年800m走 谷森
		2位	女走り高跳び 宮崎
	市総体	2位	女3年100m走 白間
		2位	女1500m走 勝本
	3位	女4×100mR 矢野 瀧野 白間 岡本	
男テニス	市新人1年	2位	岡崎 池田ペア
女テニス	市新人1年	3位	瀧崎 大畑ペア
柔道	市新人大会	3位	73kg級 山本

青少年健全育成 標語	佳作	順位	個人名
		3-1	児玉 和弥
		3-1	中谷 颯
		2-1	林 祐人